

めざす子ども像		思いやりの心を持ち、たくましく生きる美星っ子			
学年・学期における探究課題		《人を知る》			
単元名		『やさしさの輪を広げよう』（全30時間=実施時期：9月～2月）			
単元のねらい		<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験を通して、福祉の意味や地域の現状、高齢者や障害がある方の思いや願いを理解するとともに、自分の課題を見つけ、必要な知識・技能を身に付けることができる。 地域の高齢者や障害のある方とかかわることを通して、課題解決に向け、方法を選択して情報を収集し、分かりやすくまとめたり、相手に伝えたりすることができる。 課題解決に向けて主体的に、また、友達と協力し合いながら取り組み、自分にできることはないか考え、実践していくことができる。 			
		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		UDについて知る	校内のバリアフリー探し 福祉体験（高齢者体験・車いす体験） 特別養護施設との交流	体験したことを振り返る。 発信に向けて、プレゼン作りをする。	体験したことをまとめ、発表し、振り返る。
引き出した たい姿	いばら愛 <small>（郷土愛と当事者性）</small>	福祉の意味や地域の現状、高齢者や障害がある方の思いや願いについて考え、課題をもつ。	校内のバリアフリーを探し、その意図や使い方について調べる。	○○○○	これからよりよい町づくりしていくために自分たちにできることを考え、実践する。
	やり抜く力 <small>（向上心と忍耐力）</small>	○○○○	福祉体験を通して、高齢者や障害のある方が困っていることや苦勞していることを体験し、理解する。	自分たちが学んだことが分かりやすく伝えられるように、情報を取捨選択してプレゼンテーション資料を作成する。	自分で見つけた課題の解決に向けて、作成したプレゼンテーション資料を発表し、振り返る。
	まき込む力 <small>（発信力と協働性）</small>	○○○○	○○○○	○○○○	参観日に作成したプレゼンテーション資料を発表し、感想を話し合ったりアドバイスをもらったりする。
仕掛け・工夫	もの	身の回りにある点字が付いているものやUDの例となる写真を用意し、共通点について考える。	○○○○	○○○○	○○○○
	ひと	○○○○	社会福祉協議会の方に高齢者や障害のある方の苦勞についての話を聞いたり、実際の取り組みや質問をしたりする。	○○○○	他学年または、地域の方へ発表し、交流する。
	しごと <small>（こと）</small>	井原市の人口や人口ピラミッドを見て、未来の井原市について付箋を使って意見を出し合う。	福祉体験を行い、高齢者や障害のある方が困っていることや苦勞していることに身をもって気付く。	○○○○	○○○○
アウトプットの工夫		「まとめ・表現」において、特別養護老人ホーム長楽園の方と交流をする。			

◆ 他教科・領域、学校行事等との関連

国語科「みんなが過ごしやすい町へ」
道徳科「UDってなんだろう」

◆ 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

井原市社会福祉協議会、特別養護老人ホーム長楽園

◆単元のねらい「美星町が誰にとってもより住みやすい町にするためにできることを考え、実践する。」



◆成果(○)・課題(△)・来年度に向けて(☆)

- 地域の少子高齢化や福祉体験を通して、高齢者の苦勞に気づくことができ、自分たちにできることはないかと自分事として考えることができた。
- 学習を通して、次は何を調べる必要があるか、自分たちが家庭や生活の中ですぐに実践できることはないか、児童が主体的に考えて活動することができた。
- △感染症対策のため、特別養護施設との交流を直接行うことができなかった。
- △調べたいことが個々によって大きく異なったため、1グループが3名程度の活動となり、協同的な活動ができにくかった。大きな括りとして3～4名グループの構成で活動すると、より考えが深まったり、活動が活発したように思う。
- ☆実践する場を特別養護施設との交流のみで考えていたので、それ以外にも実践できる場を提供できるとよい。